

無題 その42

それは作られたもの
古からやってきたもの

行方知れずになつたものを探すとき
口笛を使えばよい

到底かなわぬものは
ところせましとやってくる
それから少しずつ耕して水をやり
肥料をやるように

ところでんが押し出されるように
やってくるものはかいがいしく爪弾かない
ひっそり凍えながら待つものは
到底あきらめきれずに輝けるものを待つ

そろそろと参るものは
ゆつくりと後ずさりして気配をうかがう
故に未練なし

こそそと嗅ぎまわるものに用心しなさい
堂々とくるものに対応しなさい
コソ泥のように嗅ぎまわるもの
我は未練なし

自らの命も使わずに
人のものを使おうとする
その心汚さに
我は未練なし

未練がごときに縛られるもの
人は皆、生きようによつては死ぬ
死ぬことのために生きているわけではない
それくらいわかっているであろう

その人、よく聞きなさい

つまみびやか？に生きるこの意味

切々と生きるこの意味

とうとうと流れゆくものに身を任せるもの

一旦保留にするとは何なのか

とことん生きるとは何なのか

その人、よく聞きなさい

戻って帰ってくるこの意味

しばらく佇んで立ち去る意味

しっかりと羽ばたき震える意味

我の中に輝くものがある時

それは見事に咲いた黄金の花

素つ頓狂な生き方をしてはならず
ならず者のように生きてはならず
屍のように生きてはならず
生き生きと生きることの意味

よく考えなさい

2008/05/22 (木)